位相限定相関法についてマルチメディア情報検索参考資料

2018年10月25日

位相限定相関法(1/2)

2 枚のサイズ $N_1 \times N_2$ 画像をそれぞれ $f(n_1, n_2)$, $g(n_1, n_2)$ とし, $f(n_1, n_2)$ と $g(n_1, n_2)$ の離散フーリエ変換をそれぞれ $F(k_1, k_2)$, $G(k_1, k_2)$ とする.

$$F(k_1, k_2) = \sum_{n_1=0}^{N_1-1} \sum_{n_2=0}^{N_2-1} f(n_1, n_2) W_{N_1}^{k_1 n_1} W_{N_2}^{k_2 n_2}$$

$$G(k_1, k_2) = \sum_{n_1=0}^{N_1-1} \sum_{n_2=0}^{N_2-1} g(n_1, n_2) W_{N_1}^{k_1 n_1} W_{N_2}^{k_2 n_2}$$

ただし、正整数 N に対して $W_N = e^{-j2\pi/N}$. フーリエ係数は一般に複素数であることを思い出そう.

位相限定相関法 (2/2)

複素数 z = x + jy の複素共役 \overline{z} と絶対値 |z| を思い出そう.

$$\overline{z} = x - jy$$
, $|z| = \sqrt{x^2 + y^2}$

合成位相スペクトルを次式で定義する.

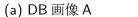
$$R(k_1, k_2) = \frac{F(k_1, k_2)\overline{G(k_1, k_2)}}{|F(k_1, k_2)\overline{G(k_1, k_2)}|}$$

目的の **Phase-only correlation(POC) 関数**は $R(k_1, k_2)$ の逆フーリエ変換として定義される.

$$r(n_1, n_2) = \frac{1}{N_1 N_2} \sum_{k_1=0}^{N_1-1} \sum_{k_2=0}^{N_2-1} R(k_1, k_2) W_{N_1}^{-k_1 n_1} W_{N_2}^{-k_2 n_2}$$

具体例







(b) DB 画像 B



(c) クエリ画像 X

Figure: データベースとクエリの画像

POC計算結果

入力画像 X と DB 画像 A と B の POC 関数を示す.

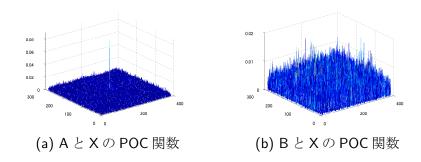


Figure: POC 関数の計算結果

プログラム例 (1/3): POC を用いた識別

```
function poc_matching(DB, X)
%位相限定相関法を用いた識別アルゴリズム.
   dblX=double(X);
   for i=1:200
       A = DB(:,:,i);
       dblA=double(A);
       P=poc(dblA,dblX); %POC 関数本体
       distance(i)=max(max(P)); %POC 関数の最大値
   end
    [maximum, index]=max(distance); %全POC 関数の最大値
   number=ceil(index/10);
   sprintf('X is Person #%d.',number)
end
```

プログラム例 (2/3): POC 関数本体

```
function [P]=poc(A, B)
%入力AとBのPOC関数を計算し、その絶対値を返す。
   A2=fft2(A): %フーリエ変換
   A3=A2./modified_abs(A2); %位相成分を計算
   B2=fft2(B); %フーリエ変換
   B3=conj(B2)./modified_abs(B2); %複素共役+位相計算
   C=ifft2(A3.*B3); %POC 関数の計算
   C2=fftshift(C); %原点シフト
   P=abs(C2); %絶対値の計算
   %figure
   %mesh(P)
end
```

プログラム例 (3/3):修正絶対値関数

end

```
function [Y]=modified_abs(X) %出力 Y は入力行列 X の各要素をその絶対値で置き換えた行列. %ただし, 絶対値が O の場合は 1 に補正.
```

```
[m,n]=size(X); %行列 X のサイズを抽出
Y=abs(X); %行列 X の各成分の絶対値を計算
for i=1:m
        for j=1:n
        if Y(i,j)==0.0
             Y(i,j)=1.0;
        end
    end
end
```